

中学生の「税についての作文」

大川市教育長賞

税金のありがたみ

大川市立大川桐英中学校

一年 内村 怜央

私たちの中で税金は欠かせない存在です。税金とは、政府が公共サービスを提供するために国民から徴収するお金のことです。私たちが日常生活で目にするサービスは、税金によって支えられています。

そこで私は、税金の役割りについて考えてみました。税金は、教育、医療、交通など私たちの生活に必要なサービスを提供するための資金源です。例えば、学校や病院、警察署や消防署などは、税金によって運営されています。これらのサービスがなければ、私たちの生活はとても不便になるでしょう。次に税金の種類について触れてみたいと思います。税金には、所得税、消費税、法人税などさまざまな種類があります。所得税は、私たちが働いて得た収入に対して課せられる税金で、私たちの生活に直接影響を与えます。法人税は、企業が得た利益に対して課せられる税金のことです。これらの税金は、国や地方自治体の財源となり、公共サービスの提供に使われます。

税金を納めることは、私たち市民の義務であると同時に、社会に対する責任でもあります。税金が適切に使われることで、よりよい社会を築くことができます。しかし、税金の使い道については常に議論があり、納税者として私たちもその使い方に興味を持つ必要があります。税金の使い方を考え、私たちも意見をもち、参加することが大切です。

また、税金の使い道については、教育や福祉、環境保護など、さまざまな分野に投資されることが求められています。特に少子高齢化が進む日本においては、教育や福祉に対する投資がますます重要になっています。

最後に、税金の重要性を再確認し、私たち一人ひとりがその役割を果たすことが大切です。私たちが納めた税金がどのように使われているのかを知り、正しく納税することで、よりよい社会を築いていくことができます。税金は単なる負担ではなく、私たちの社会を支える大切な資源であることを忘れずにいたいです。

